

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

配付先(近畿運輸局)

海運関係業界プレス

問い合わせ先

(所属) 海事振興部 船舶産業課

(担当) 上浦、馬場

(電話) 06-6949-6425

令和7年11月11日

業界の未来を担う人材の学びの場

～ 造船業・船用工業関係に従事する新人研修会 開催 ～

近畿運輸局では、新人教育支援の一環として、平成15年より、管内造船・船用工業関係事業者が所属する団体とともに、採用後3年程度の新入社員を対象とした研修会を開催しています。

本研修は、海事産業が、我が国にとって大変重要な社会インフラであり、国民生活を支えている事を学ぶとともに、自身の業務との関わりを実感していただくことで、参加者の就労意欲や定着率の向上に繋がることを目指しています。

1. 日 時 令和7年10月23日(木) 9:45～16:00
2. 場 所 ・フェリーきょうと
・(一財)日本船舶職員養成協会近畿〔JEIS近畿〕
3. 参加人数 25名
4. 内 容 ●船内見学：株式会社名門大洋フェリー「フェリーきょうと」
●講演①「造船・船用工業の基礎知識」
講師：近畿運輸局海事振興部船舶産業課長 市瀬 洋賢
●講演②「安全行動の心理学的アプローチについて」
講師：筒井 宣利 氏
5. 主 催 近畿運輸局
6. 協 力 株式会社名門大洋フェリー / (一財)日本船舶職員養成協会近畿
7. 共 催 近畿船用工業会 / 大阪船用品商組合
(一社)近畿小型船舶工業会 / (一社)日本船用工業会 順不同

別添 講習及び船内見学の様子、参加者の声

●協力団体・船舶運航事業者

一般財団法人日本船舶職員養成協会近畿

<https://www.jeiskinki.or.jp>



株式会社名門大洋フェリー

<https://www.cityline.co.jp>



○講演②



PSC KOBE 代表
筒井 宣利 氏

○船内見学



機関部①



機関制御室



機関部②



操舵室



エントランス



フェリーきょうと

○参加者の声 ※選択式アンケートで票の多かった回答

【船内見学】

1. 自身の業務と実際に稼働している船用工業品との繋がりについて
「自身の業務が船舶のどこで使われているか、具体的にイメージできた」
2. 見学で得た経験を、今後の製造・製品開発の業務にどう活かそうだと感じましたか。
「今すぐ業務に活かせるかはわからないが、視野が広がった」
3. 機関室や操舵室など、普段見ることのない船の構造や機器の配置について
「船の安全や快適性が、多くの機器によって支えられていると実感した」
4. 今回の見学を通して、今後の業務に対するモチベーションに変化はありましたか。
「向上した(具体的な気づきがあり、今後の業務への意欲が高まったため)」

【講義②】

1. 講義を受ける前と後で、自身の安全行動に対する意識はどのように変化しましたか。
向上した(参考となり、今後に繋がたい)

●総評

船内見学・講義ともに、研修参加者からは満足度が高く、良い学びの場となった。今後、研修参加者のご活躍に期待したい。